



ぼうさい まもる
防災 守くん

ふれあい119

写真提供 田端良則氏



三陸沖、宮城県沖地震の発生が真近しいといわれる中でもあり、自主防災体制の構築を地域で取り組むようお願いいたします。

消防本部では、北上市及び西和賀町と協力しながら、平成19年度内の管内全行政区での自主防災組織の結成を目指しております。

自主防災組織とは、「一番はじめに災害に対処する自治会のまとまった力」を言うものであり、災害から命・財産・まちを守る活動を行う組織ですが、自発的に活動を行うという意味で、消防機関として位置付けられている消防団とは性格が異なります。

災害への初期活動は、各地の災害発生に見るまでもなく、人的被害及び二次災害を防止し、被害を最小限に食い止めるために、極めて重要であります。

自主防災組織とは、「一番はじめに災害に対処する自治会のまとまった力」を言うものであり、災害から命・財産・まちを守る活動を行う組織ですが、自発的に活動を行うという意味で、消防機関として位置付けられている消防団とは性格が異なります。

自然災害が全国の広範囲な地域で大きな被害をもたらしております。

突然襲ってくるのが災害です。消防本部及び消防機関は、直ちに被害状況の把握や応急対策に着手する体制をとっていますが、「電話・電気・水道など」のライフラインに広範囲に被害が発生した場合、防災関係機関の対応には限界があります。



北上地区消防組合
消防長 伊藤 賢一



平成19年10月 ○編集・発行/北上地区消防組合消防本部広報編集委員会
〒024-0083 北上市柳原町二丁目3番6号
TEL 0197-64-1122 FAX 0197-65-5170 災害情報案内 0197-65-5119
<http://www.firedp.kitakami.iwate.jp>

【秋季全国火災予防運動】

11月9日(金)～11月15日(木)

火の用心7つのポイント



『火はみてる
あなたが離れる
その時を』

住宅用火災警報器Q&A

問 アパートに住んでいます。警報器を取り付けるのは、借り手でしようか。大家さんでしようか。

答 法令では所有者、管理者または入居者が設置しなければならぬと規定しています。すでに入居していて警報器がない場合は、大家さんと相談し設置と維持に関して取り決めるべきでしょう。

問 煙が見えないのに警報器から時おりピツピツと音がします。鳴り止まないので天井から取り外し、電池をはずして止めました。2年前に買ったものですが故障でしょうか。

答 電池切れかもしれませんが。新しい電池と交換してみましよう。電池の容量が減ると、煙を感じた時とはちがう音で知らせる仕組みになっています。

問 先日、点検業者を名乗る人が来て、「住宅用火災警報器は、定期点検を受けないと法律違反になる。今日なら割安で点検する。」と言われました。その日は断りましたが、点検が必要というのは本当でしょうか。

答 業者の点検を受ける必要はありません。自分で取扱説明書に記載されたテストを時々おこなってください。

油流出事故をなくそう!

ホームタンクからの油流出事故が多発しています。特に多いのは、灯油をポリ容器に分け中、その場をはなれて容器からあふれさせるケースです。決してその場をはなれてはいけません。万が一に備え、ホームタンクに受け皿などの油流出防止措置をしましょう。また、油流出防止措置の水抜きバルブは、雨水を抜いたら必ず閉めておきましょう。

火災予防条例で定められている油が漏れた場合に流出を防止するための有効な措置を講じた例



◇ストーブは、ご使用前に必ず点検を!
◇灯油容器は、認定品を用いましょう!

こんな ロゴマーク 見たこと ありませんか？



AEDってなに？

最近よく耳にすることが多いこのAED（エー・イー・ディー）は、自動体外式除細動器といい、命に係わる重篤な不整脈を治療する機械です。

テレビなどで心臓が止まった人に電気ショックをするシーンを見たことはありませんか。AEDはまさにその機械そのもので、誰でも使えるようになりました。

どうやって使うの？

電源を入れると自動でメッセージが流れるので、そのメッセージに従って操作すれば誰でも安全に、そして簡単に使用することができます。

いつも休むことなく規則正しく働き続ける皆さんの心臓。でもその心臓が突然動かなくなったらどうしますか？ほうっておけば一歩一歩確実に死に近づいていくでしょう。その治療方法として最も有効なのが心肺蘇生法とAEDによる電気ショックなのです。

詳しい取扱いは救命講習で学ぶことができます。

（問い合わせ先65-5175消防本部・警防課救急係まで）

あなたにもできます！

人命救助・初期消火



表彰を受ける岩手スリーエム



表彰を受ける高橋源平さん

7月18日、北上地区消防組合消防本部において、消防業務一般協力者の表彰式が行われました。表彰状が贈られたのは、AEDを使って人命救助した岩手スリーエム株式会社の大築社長と齊藤信弘さん。（写真右奥）そして、初期消火に当たった高橋源平さん（写真左）です。一般市民によるAEDを

使つての人命救助は岩手県内初で、マスコミなどからの注目を集めました。

高橋さんは、下江釣子の住宅火災で、素早い119番通報を行いその後消火器で消火活動を行い、住宅は延焼を免れました。

指令室一般公開のお知らせ

秋の火災予防運動期間中、指令室の一般公開を次のとおり行います。

期日 平成19年11月9日から11月15日
時間 午前9時から午後5時まで

119番通報は、消防本部指令室につながります。北上地区消防組合では、コンピュータ化された地図検索装置により場所の特定が簡単にできます。それにより消防車や救急車の出動がスムーズになり、現場到着の時間が短縮されています。あわせて、正確な通報をお願いします。



あわてず、わかりやすく、はっきりと。
場所・目標・状態・名前など



去る4月20日、(株)岩野商会より消防バイクが寄贈されました。このバイクは250ccで、赤色灯、サイレンが付いており緊急車として使用でき、さらに、高圧ポンプ及び55ℓの水タンクが装備されており単独で消火できます。

組合では、消火活動、火災予防広報及び各種イベント展示等の目的で使用します。

管内の消防演習において披露されました。



自分のまちは、自分で守る。



消防団員を募集しています。